

## 輸送の安全に関する計画

1. 輸送の安全に関する目標を達成するため、過去の計画の実施状況等を勘案し、現状の問題点等を把握したうえ、必要な年間計画を作成し実行する。
2. 実施事項
  - ① 両備グループバスユニット安全マネジメント委員会への出席（年4回）
  - ② 両備バスカンパニー安全マネジメント委員会への出席
  - ③ 両備タクシーユニット安全マネジメント委員会への出席
  - ④ 毎月10日をSSP-UP[S=safety & security(安全)、S=service(サービス)、P=productivity(生産性)、UP(向上)]推進日とし、全社員胸にリボンを着けて安全・サービスの向上を図る。
  - ⑤ 春・秋・年末年始の全国交通安全運動の推進
  - ⑥ 運転者の適性診断の受診（2年に1回受診）
  - ⑦ 定期健康診断の受診（夏・冬2回実施）
  - ⑧ 産業医による健康相談の実施
  - ⑨ 毎年7月31日を「両備グループ安全の日」とし、安全サービスの高揚に努める。
  - ⑩ 毎年7月を「両備グループ安全月間」とし、胸に安全リボンを着けて安全・サービスの向上を図る。
  - ⑪ 両備グループSSP-UP技能コンテストへの参加
  - ⑫ 運転者の運転記録証明書の取得
  - ⑬ 年末年始の全国安全総点検運動への参加

# 平成30年 運転者教育 年間計画表

## 東備バス

実施月	教育内容					
	営業所	実施日	両備バス主催教育	実施日	両備教育センター・社外教育	実施日
1月	乗客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項 (実技指導)		一般運転者教育 運行管理者(運行管理補助者)教育		事故惹起乗務担当社員教育	
2月	乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項 (冬期安全運転6則)		一般運転者教育 事故惹起運転者教育		ベテラン(高齢)乗務担当社員教育 SAFETY教育	
3月	運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべき事項 (救急救命訓練)		大型車運転教育		事故惹起乗務担当社員教育 運転実技教育(クレフィール湖東)	
4月	運行路線・経路における道路及び交通の状況 (ハザードマップ)		事故惹起運転者教育 指導運転者教育		SAFETY教育	
5月	運転する心構え (ドラレコチェックリスト)		新任運行主任教育		事故惹起乗務担当社員教育 接客サービス教育	
6月	構造上の特性 事件事例(国交省メルマガ使用)		事故惹起運転者教育 一般運転者教育 運行管理者(運行管理補助者)教育		ベテラン(高齢)乗務担当社員教育 SAFETY教育	
7月	危険の予測及び回避 (KYT)		一般運転者教育 運行管理者(運行管理補助者)教育		事故惹起乗務担当社員教育	
8月	運転者の適性に応じた安全運転 (適性診断結果)		一般運転者教育 運行管理者(運行管理補助者)教育 サービス向上教育(クレーム惹起者対象)		SAFETY教育 接客サービス教育	
9月	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法		事故惹起運転者教育		事故惹起乗務担当社員教育 接客サービス特別教育 SSPup技能コンテスト予選会	
10月	健康管理の重要性 (人間ドック検診結果)		大型車運転教育		SAFETY教育 SSPup技能コンテスト	
11月	安全性の向上を図るための装置を備える貸切バスの適切な運転方法		新入運転者教育		事故惹起乗務担当社員教育 接客サービス教育	
12月	事件事例検証 (国交省メルマガ・グループ事故報告書)		事故惹起運転者教育 一般運転者教育 運行管理者(運行管理補助者)教育		ベテラン(高齢)乗務担当社員教育 SAFETY教育	